

# ぎふ市民 歯・口腔の健康づくり計画

令和8年度～令和17年度

概要版



令和8年3月

岐阜市

## 基本理念

「全ての市民が生涯にわたり、健康で暮らしていく基盤として、自らの歯で食を楽しむことができ、自主的な努力で全身の健康にも関係する歯・口腔の健康づくりに取り組む社会」を目指します。

## 基本目標

- (1) 市民が歯科疾患の予防、早期発見及び治療に関する知識を持つことができる。
- (2) 市民が生涯にわたる歯・口腔の健康づくりを自分ごとと捉え、自主的に努力することができる。
- (3) 歯科健診、歯科保健指導および健康教育等のサービスを受けることができる環境を整備する。
- (4) ライフステージに合わせた歯・口腔の健康づくりを推進する。

## 計画の期間

本計画は、2026(令和8)年度から2035(令和17)年度までの10年間とします。社会状況の変化などを踏まえ、必要に応じ評価及び見直しを行います。

### (1) 全てのライフステージにおける継続的な 歯・口腔の健康づくりに関する取組を推進する

#### ① 乳幼児期（0歳～5歳）

- ・むし歯予防の知識の普及を促進
- ・歯みがき等の習慣や咀嚼や嚥下の機能を育てる取組の普及啓発

#### ② 学 齡 期（6歳～18歳）

- ・歯科疾患（むし歯・歯肉炎）予防知識の普及を促進
- ・かかりつけ歯科医を持つことの重要性の啓発を促進
- ・規則的な食習慣や生活リズムの形成の啓発を促進

#### ③ 青 年 期（19歳～39歳）

- ・むし歯や歯周病予防の知識の普及を促進
- ・口腔の健康と全身の健康との関わり・口腔機能低下・オーラルフレイルに関する知識の普及を促進

#### ④ 壮 年 期（40歳～64歳）

- ・歯周病予防の知識の普及を促進
- ・口腔の健康と全身の健康との関わり・口腔機能低下・オーラルフレイルに関する知識の普及を促進

#### ⑤ 高 齢 期（65歳～）

- ・口腔の健康と全身の健康との関わり・口腔機能低下・オーラルフレイルに関する知識の普及を促進
- ・口腔機能の維持を目指した取組を促進

#### ⑥ 全てのライフステージにおける共通の取組

- ・かかりつけ歯科医により、定期的な歯科健診の重要性の普及啓発
- ・自らが実践する歯科疾患（むし歯・歯周病）予防知識の普及
- ・口腔機能の形成、発達、維持、向上の知識の普及

## (2) 配慮が必要な状況にある者への歯・口腔の健康づくりに関する取組を推進する

### ① 妊産婦

- ・妊産婦が歯科健診に行きやすい環境の整備を促進
- ・歯科疾患予防や口腔ケアの知識の普及を促進

### ② 障がい者(児)、介護を必要とする者

- ・受診しやすい環境を整備するための関係機関との連携
- ・障がい者支援施設等と連携し、口腔ケア等の知識の普及を促進
- ・通院が困難な障がい者(児)、介護を必要とする者への歯科健診受診の機会を確保するとともに、口腔ケア等の知識の普及を促進
- ・障がい者(児)支援施設、介護施設等の職員等に対して、歯科疾患予防等に関する知識の普及啓発

## (3) 全ての市民が生涯にわたって歯・口腔の健康づくりを進めるために必要な社会環境の整備を推進する

- ① 歯・口腔の健康づくりに関する情報提供及び知識の普及啓発
- ② 災害、感染症拡大等に備えた体制の整備
- ③ 市民の自主的な努力を促進
- ④ 歯科医療関係者等との連携と実践
- ⑤ 歯科医療に関する人材の育成及び施策の効果的な実施に資する調査及び研究



## ぎふ市民歯・口腔の健康づくり計画の目標項目・現状値・目標値一覧表

### 全てのライフステージにおける継続的な歯・口腔の健康づくりに関する取組

目標項目		現状値	目標値 (R17)
①乳幼児期 (0歳～5歳)	10か月児健康診査で口の手入れを始めている保護者の増加	78.9%	90.0%
	むし歯のない1歳6か月児の増加	99.3%	99.5%
	むし歯のない3歳児の増加	94.6%	97.0%
	3歳児でフッ化物塗布を受けたことがある児の増加	77.9%	85.0%
	3歳児で間食(おやつ)の回数が決まっている児の増加	77.5%	80.0%
	保育所(園)・幼稚園等で「昼食後の歯みがき」を実施する施設の増加	82.6%	90.0%
②学齢期 (6歳～18歳)	むし歯のない6歳児(小1)の増加	74.1%	80.0%
	むし歯のない12歳児(中1)の増加	81.7%	90.0%
	小学校で「昼食後の歯みがき」を実施する施設の増加	74.5%	90.0%
	歯肉の状態が要精検の12歳児(中1)の減少	2.3%	2.0%
	15歳児(中3)処置完了者の割合の増加	62.0%	80.0%
	よく噛んで食べる6歳児(小1)の増加	82.9%	90.0%
よく噛んで食べる12歳児(中1)の増加	54.4%	65.0%	
③青年期 (19歳～39歳)	25歳で歯周炎(4mm以上の歯周ポケットを有する)にかかっている人の減少	46.5%	40.0%
	30歳代で歯周炎(4mm以上の歯周ポケットを有する)にかかっている人の減少	55.1%	45.0%
	過去1年間に歯科健診を受診した人の増加	54.3%	80.0%
	歯間部清掃用具(デンタルフロス、歯間ブラシ)を使用する人の増加	59.8%	70.0%
	オーラルフレイルを知っている人の増加	12.2%	50.0%
	喫煙と歯周病の関係を知っている人の増加	52.7%	75.0%
	喫煙者で過去1年間に歯科健診を受診した人の増加	37.1%	60.0%
④壮年期 (40歳～64歳)	40歳代で歯周炎(4mm以上の歯周ポケットを有する)にかかっている人の減少	57.5%	50.0%
	過去1年間に歯科健診を受診した人の増加	51.4%	80.0%
	歯間部清掃用具(デンタルフロス、歯間ブラシ)を使用する人の増加	68.2%	75.0%
	60歳で24本以上自分の歯を有する人の増加	91.4%	95.0%
	オーラルフレイルを知っている人の増加	18.5%	55.0%
	糖尿病と歯周病の関係を知っている人の増加	72.8%	80.0%
	喫煙と歯周病の関係を知っている人の増加	55.6%	75.0%
	8020運動を知っている人の増加	63.3%	75.0%
⑤高齢期 (65歳～)	過去1年間に歯科健診を受診した人の増加	56.8%	85.0%
	オーラルフレイルを知っている人の増加	19.8%	60.0%
	80歳で自分の歯が20本以上ある人の増加	71.7%	80.0%
	8020運動を知っている人の増加	67.6%	80.0%
	ぎふ・さわやか口腔健診を受診する人の増加	8.4%	13.0%
	糖尿病と歯周病の関係を知っている人の増加	71.8%	80.0%
	喫煙と歯周病の関係を知っている人の増加	50.8%	75.0%

### 配慮が必要な状況にある者への歯・口腔の健康づくりに関する取組

目標項目		現状値	目標値 (R17)
①妊産婦	妊婦歯科健康診査を受診する人の増加	43.2%	50.0%
	妊婦歯科健康診査で歯周炎(4mm以上の歯周ポケットを有する)にかかっている人の減少	55.6%	50.0%
	産婦歯科健康診査を受診する人の増加	30.2%	40.0%
	産婦歯科健康診査で歯周炎(4mm以上の歯周ポケットを有する)にかかっている人の減少	51.0%	45.0%
	早産や低出生体重児と歯周病の関係を知っている妊婦の増加	75.4%	85.0%
②障がい者 (児)、介護を 必要とする者	年に1回以上は歯科健診を実施する障がい者支援施設の増加	100%	100%
	年に1回以上は歯科健診を実施する介護保険施設の増加	48.3%	60.0%
	口腔ケアが行われている介護保険施設の増加	72.4%	80.0%



ぎふ市民歯・口腔の健康づくり計画 [概要版]

令和8年3月

発行 岐阜市

編集 岐阜市 保健衛生部

口腔保健支援センター（保健所保健予防課内）

〒500-8309 岐阜市都通2丁目19番地

電話 058-252-7193

E-mail [hoken-yobou@city.gifu.gifu.jp](mailto:hoken-yobou@city.gifu.gifu.jp)